

ここが正念場! 笑って春を迎えよう!

石橋 祐人 (関目教室)



津教室に通い、桃山学院高校に進学、その後、近畿大学法学部へ進学しました。

突然ですが、受験も間近になってきたということで、今回は私の経験から高校受験へのちょっとしたアドバイスを述べさせていただきます。

この時期になると成績が伸び悩む人もいて勉強することが苦痛になる人も少なくないと思います。それが原因で勉強することが嫌になって、せつ

かくこれまで頑張ってきたにも関わらず勉強時間が少なくなってしまったり、勉強することをやめてしまったりする人も見えました。そんな状況になった時に、もう一度思い出してほしいことは「どうしてその学校を志望校に選んだのか」ということです。私は受験においてこれが1番大切だと感じており、これが明確であるかどうかで成績の伸び方が全く違うと感じています。例えば同じ時間勉強したとしても、です。私は中学3年生の6月ごろに桃山学院の学校説明会に行ってから「どうしてもこの高校に行きたい」という強い意思を持ちました。その日からほぼ毎日、学校から帰ってきたらすぐに着替えを終え、塾に自習に行くようになりました。この頃から勉強を「させられている」感覚はなく自発的に学習できるようになっていったと思います。志望

校への強い思いを確立すれば、それがなにより1番のモチベーションになります。もう一度「なぜ、その高校に行きたいのか」を思い出してほしいと思います。

受験は秋から冬が正念場です。ここで一気に伸びる人が必ずいます。三者面談が終わり、ついに私立高校の志望校は決まり、公立高校も一定の方向性を決定する時期になったかと思えます。ゴールはあつという間にやってきます。今は誰もが苦しむ時期だと思いますが、私が今になって振り返ってみると毎日充実していて苦しくもあつたが楽しい日々であったなと感じます。なんとかこの苦しい期間を乗り越えてあとで振り返った時に笑える結果になるように残り数ヶ月頑張ってください。

【本部】 城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201 TEL.06-6939-0008	【今福第2教室】 城東区今福西 2-16-8 TEL.06-6931-2000
【今福教室】 城東区今福西 2-9-20 TEL.06-6934-4662	【関目教室】 城東区関目 4-6-17-2F・3F TEL.06-6934-8117
【諸口教室】 鶴見区諸口 4-14-9-1F TEL.06-6912-3984	【古市教室】 城東区古市 3-21-8 TEL.06-6931-0467
【今津教室】 鶴見区今津南 1-6-2-1F TEL.06-6167-9722	【カイチ予備校】 城東区今福西 1-10-17 TEL.06-6935-2220
【高殿教室】 城東区成育 5-22-10-2F TEL.06-6786-1008	【万緑会】 天王寺区上本町 6-9-10-3F TEL.06-6772-5011
【エニグマ】 中央区谷町 9-4-5-3F TEL.06-6777-1563	【カイコベ】 城東区今福西 3-4-9 TEL.06-6180-6565

稲盛和夫さんの成功方程式

「人生の成功=考え方×情熱×能力」



高木 秀章 (塾長)

早いものでもう12月。カイチの先生達は、12月7日(土)に行われる珠算競技大会の準備や中3生の三者懇談会、冬期講習に中3の合宿準備に大忙しです。今年は例年よりも温かいです。マイコプラズマをはじめ、風邪が大流行していて、学級閉鎖もちらほら出てきています。皆さん、体調管理は万全にするようにしてください。

受験生の皆さんは、12月の上旬から実施される三者懇談でいよいよ私立受験校が確定し、併願の人は公立受験校もおおよそ決定します。多くの私立高校はレベルの違う複数クラスから当日の得点に応じ可否を決める形ですので、出来る限り上のクラスで合格はしておきたいものの、ある程度安心感を持って受験できます。それに比べて公立高校は一発勝負でリスクの高い受験になります。

おそろく今回の懇談会では、公立志望校に一步足りないと言われる人がたくさん出てくると思います。なぜなら、そもそも目標校は、自分が頑張ればギリギリ届くレベルの学校を設定しているからです。むしろ、今回の懇談であと一步まで来たということは、そこまで学力が伸びた、努力が成果として現れている証拠です。

でも、自分の将来の進路です。悩むのは当然です。目の前には、偏差値も内申も足りている安全校があり、一方でリスクを伴う志望校がある。

もしかしたら、受験勉強にうんざりしている人もいるかもしれないし、こんなものでいいやと考えている人もいるかもしれません。そんな人は安易に行けるところに行っておけばと流されてしまうかもしれません。

でも、もう一度、自分が何のために頑張ってきたかを立ち止まって考えてください。高校受験は人生で一度。志望校に行けなかったほとんどの人は、不合格になったものではありません。第一志望校を受験しなかったのです。

公立受験までは、あと3カ月。まだまだうひと伸びできるだけの時間は十分あります。ここで、諦めず最後の最後まで精一杯頑張り、その結果で結論を出してください。志望校に行く一番の秘訣は諦めないことです。

先日、私は京セラとauの創業者で、経営不振だったJALを3年間で業績回復させた、経営の神様といわれる稲盛和夫さんの本を読みました。その中でも心に残ったのが成功方程式の一節です。

人間の成功は「考え方×情熱×能力」で決まると稲盛さんは言います。面白いのは、この方程式がかけ算になっていることです。能力の部分はある程度、もともと備えている面が多い気がします。私達はこの能力にフォーカスがちです。でも、稲盛さんは長年の経験より人の成功には、能力よりも目に見えにくい「考え方」と「情熱」が大切といっています。

「能力」と「情熱」は1~100で考えますが、「考え方」は100~+100で考えプラスとマイナスがあると言います。そして、面白いのはそれぞれを足し算ではなくかけ算で考えるのだそうです。

ですから、いくら能力と情熱が高くても、考え方がマイナスだとトータルは大きなマイナスになってしまいます。だから、稲盛さんは、どんな時でも明るく前向き、出来れば自分の人生だけでなく、周りの人達の人生も良くなるよう

な考えで取り組みなければならないと言います。確かに歴史上の偉人でも、若い時に優れた能力や情熱で出世し、晩年は私利私欲にまみれ大きく評価を落とす人はたくさんいます。今起きている戦争も、各国の正義はあるかもしれませんが、優秀な一部の人が、自国や自分達の利益を優先した結果かもしれません。

受験の前にしている皆さんは、自分の胸に手を当てて、目の前にある受験勉強を頑張ることで、自分にとってどのようなプラスがあるかを考えてみてください。もしかすると将来に備えての努力や工夫をする上でのトレーニングになっているかもしれませんし、可否の結果以上に最後まで、頑張りぬけた自分を好きになれるかもしれません。

稲盛さんは、情熱については、まず自分の潜在意識に浸透するような願望を持ちなさいと言います。そして、その願いが本気であればあるほど、人間は絶対やってやると努力をするものだ。

ですから、今回の三者懇談で自分が行きたい学校を再確認することは意味がありますし、確認だけでなく「絶対合格する」と覚悟を持つところまで思いを強めて欲しいと思います。覚悟が揺らぐ人は「~高校に絶対合格する」と勉強机の前に張ってもいいし、ベッドに入ったら志望校に通っている自分を毎日イメージしてもいいかもしれません。そうすることで、努力の質と量がさらに高まります。

残り3カ月。ここから大切なのは稲盛さんが言うように「考え方」と「情熱」です。私達も全員が合格し笑顔で春を迎えられるよう、全力で生徒達とご家庭を支える所存です。

今年のGROWINGもこれで最後です。1年間本当にありがとうございました。

先日、私は卒塾生の結婚式に行ってきました。新郎・新婦共にカイチ生で、二人とも小学生の時からカイチで学び、大学時代にはアルバイトにも来てくれていました。本当に素敵な結婚式でカイチという場所が二人の出会いの場になったこと、また、それに感謝して結婚式に招待してくれたことにとっても感動しました。

披露宴会場には三者懇談などで色々な話をしたご両親、私が教えていた二人の姉妹、卒塾生達、そして、現在カイチに通ってくれている子までいて、地元に着て頑張っていくことの意味を考える機会となりました。

私達は、成績を伸ばすために、日々生徒達を叱咤激励し、褒め、励まします。私達と子供達、保護者との共通言語は成績を伸ばすことです。でも、それを一生懸命することで、努力と工夫の大切さや諦めない気持ち、生きる強さのようなものを伝えられたらと思います。それは一生懸命吹奏楽に打ち込んでいる子が吹奏楽を通して、野球をしている子が野球を通してそうするように、私達は学習指導を通して「人をつくる」そんな塾になりたいと考えています。

今年も皆様よりたくさんのお祈りをいただきました。まだまだできていないことが山積みです。未熟な私たちですが、今後も精進努力を続けてまいります。今年一年、通塾していただき本当にありがとうございました。皆様、良いお年をお迎えください。

岡本の
ちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE

岡本 泰行 (高殿教室)

縁



入試が近づくこの季節は落ち着かない日々が続きます。毎年なのですが、受験生を勇気づける言葉や元気づける言葉はないか?ということであるいるな偉人の名言集などを電車の中でネット検索している岡本です。

そんな私が、辛い時にどういう言葉を励みに頑張っているのかと考えたときに。

「あの時、頑張れたから大丈夫!!」

これですね。

あの時の「あの」が何を指すかは様々ですが、この言葉で乗り切れる気がします。特に体力的につらくなった時は、高校の部活の思い出が良くできます。

高校の部活は引退するまで休みは盆と正月だけの部活でした。雨の日は外での練習はありませんが階段ダッシュや筋トレなど雨の日は悲惨な練習でした。試合になれば木・金曜日から公欠扱いになることがあるため、試合会場でストップウォッチを渡され、学校のテストを受けたりしていました。カイチに入社して川西先生とお会いしたのですが、実は同じ兵庫県出身で同じ部活であったため、もしかしたら試合会場で会っていたかもしれないという...なんともこのミラクルな出会い。

エニグマにいる富田先生は、私の部活の先輩と

知り合いで、またカイチ予備校の熊谷(真)先生の知り合いも私がカイチに入社する前に働いていた塾でアルバイトをしていたなど世間の狭さを感じますね。さらに、諸口の高木先生も私の後輩と知り合いです。

カイチに入社して世間の狭さを感じています。学生時代の部活の繋がりがや、共通の知人の繋がりなど関わりがある人がこんなにも同じ職場にいる???と驚いてしまいました。人と人の縁で不思議ですね。



縁といえばこのGROWINGを書いているころ、昔カイチに通っていた生徒同士の結婚式にありがたいに呼んでもらいました。この2人はカイチで出会いました。小学校・中学校・高校など同じ学校には一度も通っていません。ですから、塾の中でも学校が違うため話している光景はほとんど見たことがありませんでした。また、高校卒業後お互いアルバイトでカイチに働きに来てくれました。これも何かの縁ですね。

「人との縁は一生の宝」(大学の時に何かに載っていた言葉です)今思うとほんとに名言ですね。

生徒の皆さんも今一緒にいる教室の仲間たちとの縁を大切にしてくださいね。

←ご結婚おめでとうございます!!

カイチからの
お知らせ

- 12月17日(火)は面談日のため中学部は休講です。 ■12月18日(水)・19日(木)・20日(金)は小学部・中1・2診断テストを実施します。
- 12月21日(土)は中3生の実力診断テストです。 ■12月21日(土)は珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズ・小学部生対象のクリスマス会を実施します。
- 珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズの冬休みは12月24日(火)~1月8日(水)です。
- 小学部・中学部の冬期講習会を12月23日(月)より実施いたします。詳しくは冬期講習の日程表をご確認ください。
- 12月28日(土)~30日(月)は中3生対象の冬期合宿を実施します。 ■12月29日(日)~1月4日(土)まで冬期休業いたします。
- 1月9日(木)より通常授業がスタートです。珠算・パスカルキッズ・トーキングキッズはこの日が新年度の授業始めとなります。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

幼児期の教育に最も大切なこと

伊藤 喜章(万緑会)

万緑会は、大小問わず100以上の塾が集まっている上本町にあり、小学受験と能力開発の2つのコースがある幼児教室です。



小学受験クラスは読んで字のごとし、小学受験を目指す子供達の教室で、筆記によるテスト対策だけでなく、工作や運動、面接練習まで実施し、小学受験全般をカバーする指導をしています。

今年度は洛南高等学校附属小学校をはじめ、西大和学園中学校との提携がなされた追手門学院小学校、箕面自由学園小学校、帝塚山学院小学校や四天王寺小学校、奈良学園小学校などが出来ました。来年1月には附属天王寺小学校や附属平野小学校の受験が近づいており、生徒それぞれが小学受験担当の山内先生や徳永先生の指導のもと、附属特訓を受講しています。

能力開発クラスは、年中～4年生ぐらいの子供達で、中学受験を始めとする将来の受験の学力の土台を作っている教室です。能力開発は名文素読や論理エンジンなどで読み書きの力や、様々な教具を使った算数指導で、数の概念そのものを体感させる指導を行い、実感を伴い算数を理解することで、思考力を高める指導をしています。



能力開発クラスは、受験などの具体的なゴールを目指して学習する教室ではありませんが、たくさんのお問い合わせをいただいています。体験に来られた多くの方が、能力開発の「促し、見守り、気づかせる」指導に共感されています。お金タイトルの指導をお子様と受けられて、教えられなくても子供達には自分で解き方を発見する力があること、また、幼児期は暗記による反復ではなく、理解の土台となる認知能力育成が大切であることを知って、「目からウロコ」と言ってくださる方もいます。

小学受験と能力開発、1つは受験の合格という明確な目標を持ったクラスと、他方は学力の土台を作るという少し、漠然とした目標を持ったクラス。2つは一見、異なるように見えますが、幼児教室として通底する考えは同じです。

それは「自立」です。
先生の言う事を聞いて、自分で考えて行動する。小学受験でも中学受験の前提の勉強でも、目や耳で聞く問題は大体初めてのもの。それをあてでもない、こうでもないと頭の中で試行錯誤を続け、問題に沿うよう答えをひねり出していく。つまり、根本の概念を分かったうえで、自分で自問自答し、考え抜いた先に、正解を出していく。この基本姿勢が「自立」への第一歩です。このことが、高校受験や大学受験、ひいては与えられ

た仕事のタスクを突破するのに必要だったりします。



先だって、諸口教室や今津教室に来てくださった西大和学園中学校・高等学校の学園長岡田清弘先生も固定概念を壊して、自分で今何をすべきかをしっかりと考えようとお話くださったことからこのことが非常に大事だということがわかるはずですよ。

小学受験では、すぐろくや色ならべなどのゲームを先生が1回だけしか言わないルールを即座に理解し、その通り対応できているか。時にヒントを与えて正解に自分で辿り着けるよう頑張ってもらいます。

また、能力開発クラスでも、根幹にあるのは数や論理の概念を使って、テキストの計算問題を単なる計算でなく、数のイメージで考え、文章題の内容を理解し、自分なりに考え抜いて解く。そういった姿勢を子ども自身につけてもらいます。

このように、小学受験クラスと能力開発クラスで、それぞれ受ける年次や違いはあれど、目指す目的は一致しています。それぞれに差異はありますが、自ら試行錯誤しながら学習する、つまり「自立」することを幼児に修得してもらうように、それぞれのクラスで指導しています。

これからも小学受験クラスと能力開発クラスのある万緑会をどうぞよろしく願います。

Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

2024年を振り返って、変わることに変わらぬこと

高木 直也(諸口教室)

早いもので2024年も今月で終わり。年が明けるといよいよ高校受験がやってきます。このGrowingがお手元に届いているところには私立の受験校が決まり、私立入試に向けて勉強にいらしているところではなかるうかと思えます。

教室運営を行う上で、年末年始の中3指導はなかなか難しい。私立高校を併願とし公立高校を目指す生徒、私立高校を専願とし私立受験に向かっているのみ頑張る生徒。大阪公立大工業高専や大阪教育大平野校舎など、一般的な入試とは異なる日程で受験する生徒。公立入試でも特別選抜、一般入試選抜に別れ、高校によってもA問題B問題、C問題と受験方法も様々です。一人ひとり対応が変わるので注意が必要です。

ほとんどの生徒が私立高校を最初の高校入試とするため、教室としても12月と1月は私立対策に重点を置いた指導になります。加えて、1月は学年末テストと実力テストがあります。国私立専願の生徒は赤本を徹底することでおおむね乗り切れますが、公立高校進学を第一志望とする生徒たちはこの間、本命の公立入試について考えることは難しいです。公立は私立終わってから考えればいいか。とこんな感じです。

ですが、私立高校入試は2月の中旬。公立入試に注力できる時期は約半月。さらにそこから受験校を決定し、自己申告書の作成。自己申告書は作文が得意な生徒からすれば大した負担ではありませんが、不得意な生徒にとっては受験勉強時間を大きく決める入試前の課題となります。そのこの教室は新年度の準備、入塾説明会(集団・個

別)、中3の三者面談。中1・中2の学年末対策でてんやわんやです。そんな中で自己申告書の添削をあわてて…というのが毎年の流れです。気が付けば特別選抜が終わり、一般入試選抜は目の前。「入試直前、中3生たちに何か踏み込んで一人ひとり打ち込めたいかな？」という思いに駆られ、3月1週目をこれまで迎えてきました。現状を何とか変えなければ、毎年思い続けてきました。

これまでの自分をふと振り返ると、変わることに、変えることへの葛藤の日々であったように思います。

大学時代にとあるプロボウラーから、練習中に「高木君、現状から何かを変えようとしなければ、今以上にうまくはならないよ。」とアドバイスされたことがあります。日本のトッププロから受けたアドバイスに「それではうまく投げられない」と生意気な口をきいた私に対してのさらなるアドバイスでした。

また、大学卒業後水産加工に従事していた際に、私が普段行っている魚のおろし方とは違う方法を職人さんからアドバイスを受けたときも「違うおろし方でおろせるから大丈夫です。」とこれまた生意気な口をきいてしまい、この時は「人から受けたアドバイスを全て吸収して習得する姿勢がないと、お前はこれ以上伸びへんぞ!」と怒鳴られました。

後に三枚おろし一つにしても、背中から開いたり、おなかから開いたり魚の構造によっておろし方を変えたほうが早く処理できることを学び、駆け出しのころの言動を思い返し恥ずかしい思いをすることになりました。

私が初めて中3を指導したのは2015年。そこから地域NO.1の進学実績を目指し、試行錯誤してきました。もちろんカリキュラムは開智にもありますが、前年と同じということはありません。毎年毎年マイナーチェンジを繰り返しています。またカリキュラムがあっても、生徒のコンディションによって授業内容を変えることもあります。

カイチ入社時の研修で塾長の授業を見学した際塾長が「授業やっててちがうなと思ったらその場ででもやる内容変えなあかんよなあ」と言いながら、カリキュラムとは全然違うプリントをやらせて、定期テストで高得点を連発させていたのも印象的でした。

2024年の諸口教室のこの1年を振り返ってみても、いろんな変化がありました。

春は人員配置。諸口教室においては10年以上タッグを組んできた高木と坪田のコンビが解消となり、坪田先生は関目へ、諸口には高殿

から山本先生、今福から川西先生が加入し、指導メンバーが一新されました。川西先生の爆発的な運動量と、またきめ細やかな指導で定評のあった山本先生の加入は、これまで手の行き届かなかった分野でのクオリティアップをもたらしました。

夏は「夏期合宿」。南海トラフ地震警報の影響で実施が危ぶまれましたが、想像以上の結果を9月にもたしてくれました。朝から晩までひたすら勉強に打ち込む経験は今までになかったのではないのでしょうか。普段の授業では見ることでできない生徒達の底力を感じました。

秋は今までにないマイコプラズマ肺炎の流行により、秋に勉強に打ち込めない状況に陥った生徒も多かったのですが、結果として合宿等、夏にプラスアルファで勉強していたことで救われた生徒も多かったのではなかるうかと思えます。

そして、今年の冬。カイチの新しい挑戦として、夏に続き「冬期公立合宿」を行うこととなりました。「またか?」と思われる方も多いと思います。実際社内でも企画段階で「またか?」と言われました。ですが、この冬期合宿もまた夏期合宿から「進化」しています。

- ①年末年始に公立対策を行うことで、公立対策不足(特に特別選抜)を解消する。
- ②2月に時間を奪われる「自己申告書」を完成させることで、2月の勉強時間を増やす。
- ③本番と同じ形式の問題を解き、内申を含めての正確な合否発表をおこない、文理学科を受験するメンバー以外の公立生たちも事前に「本番形式」を体験することが可能に。

②は特に、夏期合宿アンケートの際の保護者様からの意見を採用させていただきました。合宿開催が待ち遠しいです。

来年春には三年目を迎えるカイチ予備校諸口校が場所を新たにグランドオープンします。これは、カイチにとっても諸口教室にとっても大きな変化・進化となるでしょう。来年春に向けて全力で開校準備を行っております。乞うご期待!!

私がカイチに入社してはや11年。教えるの中には結婚してお子さんもいる卒業生もいます。私を取り巻く環境も大きく変わってきました。私自身もいろんなことを変えてやってきました。

そんな中でも、カイチのあり方として変えてはいけないこともあります。それは「生徒の可能性を信じ、寄り添い、本気で語りかけるための努力を怠らない」ことです。カイチがこの先も生徒やご家庭に元気を与え続けられる塾であるように、職員一同全力でサポートしてまいります。

月	学校・塾行事	備考
11月	第6回五ツ木模試 11月度実力テスト 期末テスト	秋の結果をもとに私立受験校を決定
12月	中3三者面談 冬期講習 冬期合宿	レベル別私立対策
1月	学年末テスト 1月度実力テスト 私立赤本演習	公立C対策にはほとんど時間が割けない
2月	私立入試 自己申告書作成 公立高校合格判定模試 特別選抜入試	受験前の追い込み時間を奪う自己申告書
3月	大阪府公立高校一般入試	

